

不知火海で真珠母貝の養殖

水俣病 不振の漁業対策に

熊本県商工水産部は水俣病に 県内には真珠の養殖業者は十
よる漁業不振の救済対策の一 八人おり、毎年ほは四百万個
買として水俣、熊本および天 (今年は三百九十万個) の穀
草の不知火海に面した水域 入れをする。したがって県で
で、本県初の真珠母貝の養殖 は不知火海で養殖された二百
事業を指導することになった 万個は県内の真珠養殖業者に
た。この事業は地元漁協が担 契約的に売り込む計画で、二
当するもので、近日中午に同部 年目以降母貝の養殖が四百万
と県水産試験場で適地調査を 個に倍増したとしても、販売

面での心配はあるまいと
の見通しを立てている。

母貝の養殖は苗を県外か
ら買う方法と幼生(貝に
なる前の浮遊状態)を入
るの葉などで付着、採集
する方法がある。幼生を
採集する方法はイカダと
スギ環さえあればできる
簡単なもので、養殖をは
じめれば一年目から幼生
ができる。従って初年目
は三重、大分、長崎各県
から稚貝を買い入れる。
価格は三・七五ギ当たり
五千個。県では養殖に
必要なイカダなどの資金
を農林中金などからあつ
せんする。養殖期間は一
二年で、地元民たちは
これまで真珠養殖業者か
ら賃金をもって生活し
ていたが、漁協で母貝養
殖を始めると利益金がそ
っくり地元漁民に入って
くる。しかも資金の回転
も早いので立ちあがりに
非常に大きな力となる。

はじめが、本県漁業の振興 竜ヶ岳、御所浦のデコボコの
に大きくプラスするものと期 多い海岸をいを予想してい
待されている。

真珠母貝の養殖は実際には明
年四月からになる見込みだが
十二月から養殖のための諸
種の準備をはじめ。商工水
産部の見通しでは初年目の養
殖は約一百万個を予定してい
る。

真珠は伊勢湾台風のため本
場の三重地方が壊滅的な
被害をうけているので、好
況間違いなしとみており明
春からの母貝養殖に大きな
期待をよせている。